

「まちなか健診」のご案内

「まちなか健診」では、後期高齢者医療保険ほか各種健康保険の健康診査や市の乳がん・大腸がん・前立腺がん検診が同時に受けられます。

【対象者】20歳以上で令和4年4月1日(金)以降に、健(検)診を受診していない人

【日時・会場】〈2022年1月〉

会場	期 日	時 間
ロイヤルチェスター	1月25日(水)	9:30~13:00
とびうめアリーナ	1月26日(木)	8:30~12:00



「骨密度検査」
「血管年齢検査」
無料です!

【健(検)診内容】◆基本的な健診

項 目	検査の内容	基準値から外れた場合に考えられる主な病気
診 察 等	視診、触診、聴打診などを行います	—
問 診	現在の健康状態や生活習慣(飲酒、喫煙の習慣など)を伺い、検査の参考にします	—
身 体 計 測	身長、体重、腹囲を測ります	動脈硬化・糖尿病・脂質異常症など
血 圧 測 定	血圧を測り、循環器系の状態を調べます	高血圧症・動脈硬化・心疾患・脳卒中など
血中脂質検査	中性脂肪や善玉・悪玉コレステロールを測定します	動脈硬化・脂質異常症など
肝 機 能 検 査	肝細胞の酵素を測定し、肝機能などの状態を調べます	肝臓の病気など
血 糖 検 査	空腹時血糖またはHbA1c、随時血糖を測定します (随時血糖を測定する場合は、食事開始後3.5時間以上経過していること)	糖尿病など
尿 検 査	腎臓、尿路の状態を調べます	腎臓の病気など

◆各種がん検診／乳がん検診※¹・大腸がん検診・前立腺がん検診

◆特定健康診査(40~74歳の国民健康保険加入者や各種健康保険組合※²などの被扶養者)

◆後期高齢者医療保険の健康診査、若年者健康診査 ※39歳以下

◆有料のオプション検査(胃がんリスク検査・血液オプション検査)※³

※¹ 乳がん検診は2年に1回の受診です。

※² 加入している健康保険によっては金額が異なりますので、まちなか健診係に問い合わせてください。

※³ 血液オプション検査のみの実施はできません。

【料金の免除】〈国民健康保険の特定健康診査、後期高齢者医療保険の健康診査、前立腺がん検診は免除なし〉

◆一般健診／生活保護世帯のみ無料(20~39歳の市民税非課税世帯の人は1,000円)

◆乳がん・大腸がん検診／市民税非課税世帯・生活保護世帯・65~69歳の後期高齢者医療保険加入者及び70歳以上は無料。

※免除の対象となる場合、申込時に申し出てください。

申込方法

- お申込方法／電話：**092-272-3530**
- お申込期間／10月24日(月)~10月28日(金) 9時00分~17時00分
- お申込・お問合せ先／一般財団法人 医療情報健康財団 まちなか健診係

医療情報健康財団
ご案内ページ



【お問い合わせ先】

- 健診内容、お申込について
一般財団法人 医療情報健康財団 まちなか健診係 ☎092-272-3530
- がん検診・大野城市国民健康保険加入者の特定健康診査(血液検査・尿検査など)について
健康課健康長寿担当(すこやか交流プラザ内) ☎092-501-2222
- 後期高齢者医療保険(75歳以上)の健康診査(血液検査・尿検査など)について
福岡県後期高齢者医療広域連合 ☎092-651-3111



有料オプション検査のご案内

本用紙は当日必ずご持参下さい

当財団では特定健診にあわせ、ご希望の方には下記のオプション検査(別料金)を準備いたしております。なお、このオプション検査につきましては申込者ご本人だけに結果報告をし、第三者に提供されることはありません。

※オプション検査の費用につきましては健診当日にお支払い下さいますようお願い致します。

申込者氏名 _____ 様 ご連絡先 _____ (_____) _____

* ☒ 胃のABC検査(男女共通) 3,000円(税込)

萎縮性胃炎、消化器潰瘍を調べるペプシノーゲン検査と胃潰瘍・十二指腸潰瘍の主な原因と考えられているヘリコバクター・ピロリ抗体検査を組み合わせ、胃の健康度をA～Dに分類するのがABC検査です。

- ◆ A群…健康的な胃粘膜で胃の病気になる危険性は低いと考えられます。
- ◆ B群…少し弱った胃です。胃潰瘍・十二指腸潰瘍などに注意が必要です。
- ◆ C群…弱った胃の可能性があります。内視鏡による定期的な検査をおすすめします。
- ◆ D群…弱った胃の可能性があると思われます。内視鏡による定期的な検査をおすすめします。

		ヘリコバクター・ピロリ抗体検査	
		陰性 3未満(-)	陽性 3以上(+)
ペプシノーゲン検査	陰性 (-)	A 	B 
	陽性 (1+) (3+)	D 	C 

*** 腫瘍マーカー** 腫瘍マーカーとは、がん細胞の目印(マーカー)になる物質の総称です。それらを血液などで検査することにより、がんの診断や治療の手助けとなります。腫瘍マーカーの検査によって体のどの部分にできたがんか、がんの細胞はどんな性質か、再発がないかなどを調べることができます。しかし、多くの腫瘍マーカーには、がんに関係なく増えることもあり、これだけでがんの有無を診断することはできません。但し、これらの腫瘍マーカーを繰り返し検査することで、その値が上昇したときには、悪性腫瘍発見の重要な情報になりえます。

☒ 〈女性コース〉 3,500円(税込)

- ◆ CEA…大腸がん、胃がん、膵がん、肝がん、胆道がんなどの消化器系のがんで高値を示します。
- ◆ CA19-9…膵がん、胆嚢・胆管がんにて特に高値を示します。
- ◆ AFP…おもに肝細胞がんなどで高値を示します。
- ◆ CA15-3…乳がんなどで高値を示すほか、卵巣がんでも高値を示します。
- ◆ SCC抗原…子宮頸がんにて陽性率が高く、扁平上皮がん、肺がんなどでも高値を示します。

☒ 〈男性コース〉 3,000円(税込)

- ◆ CEA…大腸がん、胃がん、膵がん、肝がん、胆道がんなどの消化器系のがんで高値を示します。
- ◆ CA19-9…膵がん、胆嚢・胆管がんにて特に高値を示します。
- ◆ AFP…おもに肝細胞がんなどで高値を示します。
- ◆ PSA…前立腺に特異的な腫瘍マーカーで前立腺がんなどで高値を示します。50歳以上の男性の方が受診の目安です。

申込方法

- お申込方法／電話：**092-272-3530**
- お申込期間／10月24日(月)～10月28日(金) 9時00分～17時00分
- お申込・お問合せ先／一般財団法人 医療情報健康財団 まちなか健診係

医療情報健康財団
ご案内ページ



この機会に健康診断を受診いただき、ご自身の健康管理に努めましょう。